



給食だより 1月号

令和5年1月
和歌山盲学校

しんねん あ
新年明けましておめでとうございます

ことし 今年も、みなさんの こころ からだ えいよう み 心と体の栄養を満たすおいしい給食をつくっ
ていきますので、たの 楽しみにしててください。

さて、1月24日から30日の1週間は「ぜんこくがっこうきゅうしょくしゅうかん 全国学校給食週間」です。

ふだん なにげ た 普段、何気なく食べている学校給食について改めて知るよい機会に
しましょう。

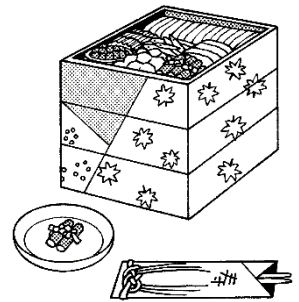
おせち料理の意味を知ろう

おせち料理とは、もともと五節句（もも せっく たんご 桃の節句や端午の

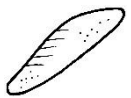
せっく 節句など）の節目に、かみさま そな 神様にお供えした料理のことをいい

ました。本来は五節句の時につくられていましたが、いま 今で

は、しょうがつ 正月のみにつくられるようになりました。



かずのこ



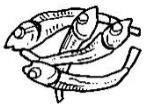
かずのこはにしんの卵巣。
たくさんの卵があるので、
しそんはんえい いみ 子孫繁栄の意味があります。

黒豆



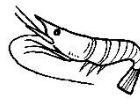
まめで健康に暮らせますよ
うにという意味が込められ
ています。

田づくり



昔、いわしを田んぼの肥料
にしていたことから、ほうさく 豊作を
もたらすという意味があり
ます。

えび



こしがまがるまで長生きする
ようになど、ちやうじゆ いみ 長寿の意味が
あります。

ななくさ 七草

ななくさ がつなぬか あさ はる ななくさ い た ねん けんこう
七草とは、1月7日の朝に春の七草を入れたおかゆを食べて1年の健康
いの ふうしゅう
を祈る風習です。

はる ななくさ
春の七草とは、せり、なずな、ごぎょう、はこべら、ほとけのざ、すずな
(かぶ)、すずしろ(だいこん)のことです。これを包丁などで細かくたたき
おかゆに入れます。七草をたたく時は「七草なずな～」などと歌う地域も
あります。



せり



なずな



ごぎょう



はこべら



ほとけのざ

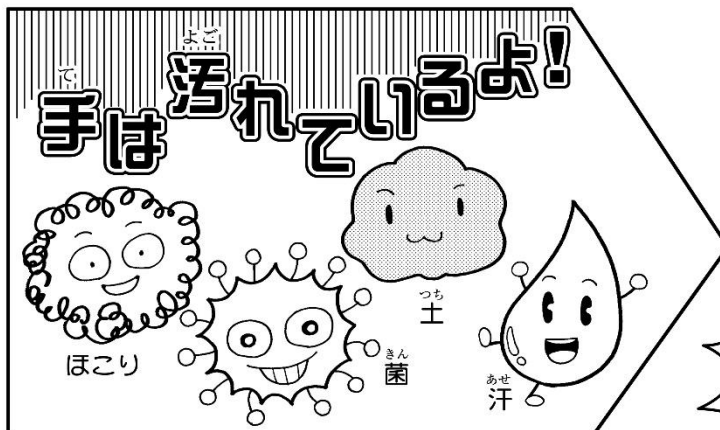


すずな



すずしろ

い・た・だ・き・ま・す



ちよつと待って!!
食べる前に...

きれいに手を洗おう!!



せっけんをよく泡立てて、手のひらや手の甲をしっかりと洗います。忘れがちな指と指の間、つめ、手首もよく洗って、水で洗い流します!

ココをチェック!
洗い残しが多いところ

